



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月4日  
上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社  
 コード番号 5301 URL <https://www.tokaicarbon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長坂 一  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事財務経理部長 (氏名) 佐藤 昭彦 (TEL) 03-3746-5100  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 2020年9月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	93,738	△32.6	5,817	△85.6	5,163	△87.3	2,158	△91.7
2019年12月期第2四半期	139,176	51.8	40,441	41.8	40,562	38.5	26,067	△40.7

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △7,037百万円( -%) 2019年12月期第2四半期 21,061百万円( △43.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	10.13	-
2019年12月期第2四半期	122.30	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	448,563	220,232	44.5
2019年12月期	462,872	232,975	45.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 199,468百万円 2019年12月期 211,838百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	24.00	-	24.00	48.00
2020年12月期	-	15.00			
2020年12月期(予想)			-	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	△27.5	6,100	△88.8	5,000	△90.6	1,000	△96.9	4.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年12月期2Q	224,943,104株	2019年12月期	224,943,104株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年12月期2Q	11,770,541株	2019年12月期	11,790,987株
-------------	-------------	-----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期2Q	213,160,788株	2019年12月期2Q	213,153,338株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2020年8月5日（水）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を電話会議方式で開催する予定です。この説明会の資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 当四半期決算の経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 当四半期決算の経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)の世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による生産活動及び消費活動の著しい停滞により、歴史的な落ち込みが見られました。ウイルスの感染拡大が沈静化してきた国・地域がある一方で、未だ感染が拡大、あるいは再拡大している国・地域もあり、今年度は深刻な景気後退に見舞われる懸念があります。

このような情勢下、当社グループにおいては、本年2月に公表した2020年から2022年までの3年間を対象とするローリング中期経営計画「T-2022」の活動を進めてまいりましたが、当社の主力事業である、黒鉛電極事業とカーボンブラック事業において、それぞれの対面業界である鉄鋼産業、タイヤ産業の需要減少を受け、業績の低下を余儀なくされており、全社的な投資抑制、生産調整と在庫削減、生産性改善と経費削減、潤沢な手元流動性確保のための資金調達等に、喫緊の対応として取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比32.6%減の937億3千8百万円となりました。営業利益は前年同期比85.6%減の58億1千7百万円となりました。経常利益は前年同期比87.3%減の51億6千3百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比91.7%減の21億5千8百万円となりました。

セグメント別の経営成績は下記のとおりです。

## [黒鉛電極事業]

昨年から継続している世界的な景気減速に伴う鉄鋼市況の悪化に加え新型コロナウイルス感染拡大による鉄鋼業界の操業落ち込みを受け、当社の黒鉛電極販売量は前年同期比で減少しました。黒鉛電極価格もこれらの需要減少の影響を受け前年同期比で下がりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比63.3%減の209億2千7百万円となり、営業利益は前年同期比95.1%減の15億2千2百万円となりました。

## [カーボンブラック事業]

新型コロナウイルス感染拡大を受け、対面業界であるタイヤメーカー各社が操業停止などの対応を実施し、当社販売数量は前年同期比で減少しました。また、販売量低下に伴う生産調整により原価率が上昇し、営業利益は前年同期比で減少しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比40.2%減の326億3千万円となり、営業損失は1億8百万円(前年同期は56億8千6百万円の営業利益)となりました。

## [ファインカーボン事業]

半導体、太陽光発電向け生産・出荷は堅調に推移しましたが、一般産業用向けは顧客の生産・在庫調整及び新型コロナウイルス感染拡大の影響等により販売量が減少しました。一方で、高付加価値商品であるソリッドSiC(シリコンカーバイド)製品は堅調に推移しており、事業全体の利益率向上に寄与しております。

この結果、当事業の売上高は前年同期比2.6%減の155億4千4百万円となり、営業利益は前年同期比0.8%増の34億8千4百万円となりました。

[精錬ライニング事業]

当社は2019年7月26日にドイツの炭素黒鉛製品メーカーTokai COBEX HoldCo GmbH（旧商号COBEX HoldCo GmbH）及びそのグループ会社を連結子会社化したことから、報告セグメントを追加しております。主な事業は、アルミ精錬用カソード、高炉用ブロック、炭素電極等の製造、販売、研究開発となります。

新型コロナウイルスの感染拡大もあり、顧客の対面業界である建設・自動車業界の活動が大幅に停滞し、足もとのアルミ市況は低位に推移しました。これにより、アルミ精錬ポットの巻替え時期が当初予定より繰り下がり、カソードの出荷も後ろ倒しとなりました。

この結果、当事業の売上高は129億円となり、営業損失は2億3千8百万円となりました。Tokai COBEX HoldCo GmbHの営業利益（当第2四半期累計期間）は43億9千7百万円となっており、セグメント会計において取得原価配分に伴う評価差額に係る償却費24億4千4百万円及びのれん償却費等21億9千2百万円が発生しております。

[工業炉及び関連製品事業]

工業炉の売上高は、主要な需要先である情報技術関連業界向け及びエネルギー関連業界向けの設備投資が堅調に推移し前年同期比増となりました。発熱体その他製品の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界経済の減速により、電子部品業界向けを中心とした消耗品需要及び中国のガラス業界向けの需要が減少したため前年同期比減となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比27.4%増の63億9千万円となり、営業利益は前年同期比23.0%増の16億5千9百万円となりました。

[その他事業]

摩擦材

四輪市販市場からの撤退による売り上げ減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大が建設用機械、農業用機械、二輪向け市場に影響しました。

この結果、摩擦材の売上高は前年同期比18.9%減の31億7千5百万円となりました。

負極材

負極材市場における新興勢の台頭等により競争が激化し、当社は前年同期比で販売数量が減少しました。

この結果、負極材の売上高は前年同期比18.2%減の20億9千7百万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高は、前年同期比1.7%減の7千1百万円となりました。

以上により、その他事業の売上高は前年同期比18.5%減の53億4千4百万円となり、営業利益は前年同期比17.3%増の2億3千3百万円となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,695	74,198
受取手形及び売掛金	50,648	34,146
商品及び製品	20,227	18,758
仕掛品	35,116	33,801
原材料及び貯蔵品	31,036	25,558
その他	6,971	4,699
貸倒引当金	△248	△205
流動資産合計	196,446	190,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,092	23,864
機械装置及び運搬具（純額）	42,139	43,919
炉（純額）	4,700	4,694
土地	7,315	7,302
建設仮勘定	17,792	19,113
その他（純額）	6,302	7,201
有形固定資産合計	101,343	106,096
無形固定資産		
ソフトウェア	1,728	1,618
のれん	64,543	59,735
顧客関連資産	67,494	62,818
その他	8,200	7,671
無形固定資産合計	141,966	131,844
投資その他の資産		
投資有価証券	18,842	15,495
退職給付に係る資産	2,633	2,529
繰延税金資産	997	1,013
その他	693	677
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	23,115	19,666
固定資産合計	266,425	257,606
資産合計	462,872	448,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,857	11,247
電子記録債務	4,078	3,020
短期借入金	37,530	8,107
コマーシャル・ペーパー	30,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	833	3,504
未払法人税等	3,658	2,459
未払消費税等	359	—
未払費用	2,813	2,439
賞与引当金	1,550	1,057
その他	11,859	11,560
流動負債合計	117,541	83,396
固定負債		
社債	35,000	55,000
長期借入金	44,666	56,434
繰延税金負債	21,431	21,580
退職給付に係る負債	6,246	6,195
役員退職慰労引当金	86	76
執行役員等退職慰労引当金	66	70
環境安全対策引当金	296	100
その他	4,561	5,476
固定負債合計	112,355	144,934
負債合計	229,896	228,331
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	17,333	17,338
利益剰余金	173,310	170,353
自己株式	△7,260	△7,247
株主資本合計	203,819	200,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,415	6,120
繰延ヘッジ損益	34	△28
為替換算調整勘定	△1,671	△8,556
退職給付に係る調整累計額	1,239	1,051
その他の包括利益累計額合計	8,019	△1,412
非支配株主持分	21,137	20,764
純資産合計	232,975	220,232
負債純資産合計	462,872	448,563

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	139,176	93,738
売上原価	81,418	67,726
売上総利益	57,758	26,011
販売費及び一般管理費	17,316	20,193
営業利益	40,441	5,817
営業外収益		
受取利息	161	96
受取配当金	290	286
持分法による投資利益	42	90
為替差益	112	—
その他	506	346
営業外収益合計	1,113	819
営業外費用		
支払利息	317	407
為替差損	—	166
その他	675	899
営業外費用合計	992	1,473
経常利益	40,562	5,163
特別利益		
固定資産売却益	42	29
退職給付制度終了益	53	—
特別利益合計	96	29
特別損失		
投資有価証券評価損	—	117
固定資産除却損	364	—
固定資産売却損	0	—
特別損失合計	364	117
税金等調整前四半期純利益	40,295	5,074
法人税、住民税及び事業税	12,279	2,871
法人税等調整額	789	△1,208
法人税等合計	13,069	1,663
四半期純利益	27,225	3,411
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,158	1,253
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,067	2,158



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	27,225	3,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	△2,297
繰延ヘッジ損益	—	△62
為替換算調整勘定	△5,820	△7,947
退職給付に係る調整額	△211	△188
持分法適用会社に対する持分相当額	7	47
その他の包括利益合計	△6,164	△10,449
四半期包括利益	21,061	△7,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,144	△7,272
非支配株主に係る四半期包括利益	△82	235

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大は収束の時期がなお見えず、当社の事業や業績に与える中期的な影響を具体的に見通すことが困難な状況が続いております。こうした中、2020年6月には、国際通貨基金（IMF）が2020年の世界経済の成長率見通しを4.9%減と前回4月の見通しから1.9ポイント下方修正しました。また、世界的感染拡大が予想以上に経済活動にマイナスの影響を及ぼしていることを踏まえ、経済活動は徐々に回復に向かうものの従来の予測より緩やかになるとして、2021年の見通しも5.4%増と前回4月の見通しから0.4ポイント下方修正しています。

当社では、新型コロナウイルスの感染拡大により減速した世界経済は、2021年度から緩やかに回復するものの、完全な回復は2022年度以降になると仮定し、固定資産の減損損失及び繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの仮定及び見積りと異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	精錬ライ ニング事 業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	57,052	54,595	15,960	—	5,013	132,622	6,554	139,176	—	139,176
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	39	50	—	347	440	0	440	△440	—
計	57,054	54,635	16,010	—	5,361	133,062	6,554	139,616	△440	139,176
セグメント利益又は損 失(△)	31,340	5,686	3,455	△972	1,348	40,860	199	41,059	△618	40,441

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△618百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△640百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	精錬ライ ニング事 業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	20,927	32,630	15,544	12,900	6,390	88,394	5,344	93,738	—	93,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81	32	64	0	264	444	2	446	△446	—
計	21,009	32,663	15,609	12,901	6,654	88,838	5,346	94,185	△446	93,738
セグメント利益又は損 失(△)	1,522	△108	3,484	△238	1,659	6,318	233	6,552	△734	5,817

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△734百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△707百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更に関する事項

前第3四半期連結会計期間において、Tokai COBEX HoldCo GmbH及びそのグループ会社であるTokai COBEX GmbH、Tokai COBEX Polska sp. z o.o.、Tokai COBEX (Shanghai) Ltd.について、2019年7月26日付で全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「精錬ライニング事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しており、従来「調整額」に含めていた当該企業結合に係る取得関連費用について、「精錬ライニング事業」に含めております。

## (重要な後発事象)

(令和2年7月豪雨災害に対する影響について)

熊本県南部で発生した集中豪雨に伴う浸水被害を受けました田ノ浦工場（熊本県葦北郡芦北町）においては、火災の発生した黒鉛化炉の復旧には相当程度の期間を要すると思われませんが、グループ内他工場生産設備の有効活用による代替生産が可能です。

また、工場内冠水の影響で稼働を停止していた生産設備は、すでに稼働を開始し出荷を再開しております。火災の発生した黒鉛化炉を除く生産設備の復旧は8月下旬と見込んでおり、サプライチェーンへの影響は限定的と考えております。

なお、復旧費用の算定、火災保険金請求手続き等につきましては、現在も精査を進めておりますが、業績への重大な影響が見込まれる場合は、別途開示致します。

(株式取得による企業等の買収)

当社は、2020年4月10日開催の臨時取締役会において、フランスの炭素黒鉛製品メーカーであるCarbone Savoie SAS（以下、「CS」）の持株会社であるCarbone Savoie International SAS（以下、「CSI」）の全株式を当社の子会社であるTokai COBEX GmbH（以下、「TCX」）と共同して取得し子会社化すること（以下、「本件」）について決議し、2020年7月17日に株式譲渡契約を締結し、全ての手続きを完了しました。またこれに伴い、同日付で、CSIをTokai Carbon Savoie International SASへ、CSをTokai Carbon Savoie SASへ商号変更いたしました。

## (1) 株式取得の目的

当社は、2020年2月に公表した3ヵ年中期経営計画「T-2022」におきまして、既存及び周辺事業での戦略投資活用による成長方針を掲げております。

CSI傘下の事業会社であるCSは、フランスを拠点に120年を超える歴史と伝統をもち、高い技術力に裏打ちされた高機能・高品質の黒鉛化カソード及び特殊炭素製品と信頼と実績に基づく優良な顧客基盤を有しております。

主力のアルミ精錬用カソード事業が対面するアルミニウム市場は、自動車や航空機など輸送機器分野における軽量化ニーズ、建材分野における都市化進展によるアルミ使用量の増加、飲料容器のアルミ化、エレクトロニクス分野における銅の代替需要等を背景に、長期的には安定した成長が見込まれており、アルミ精錬用カソード需要も堅調に推移する見通しです。

特殊炭素製品事業では、主として熱交換器や耐熱用途向けの素材を手掛けており、対面市場は引き続き堅実な需要の成長が期待されております。

当社は、本件により、精錬ライニング事業及びファイナカーボン事業を成長させ、当社の収益力の向上のみならず、ポートフォリオの分散化を図ることができ、ひいては当社の更なる企業価値向上につながると考えております。

## (2) 株式取得の相手先の概要

① 名称	Alandia Industries
② 所在地	29 rue Auguste Vacquerie 75116 Paris
③ 代表者の役職・氏名	Nicolas de Germay, CEO
④ 事業内容	Distressed investment
⑤ 設立年	2010年

## (3) 株式取得先の概要

## ① Tokai Carbon Savoie International SASの概要 (旧商号 Carbone Savoie International SAS)

① 名称	Tokai Carbon Savoie International SAS			
② 所在地	Notre Dame de Briançon 73260 AIGUEBLANCHE France			
③ 代表者の役職・氏名	Joseph Bertin, President			
④ 事業内容	子会社の管理及び統轄			
⑤ 資本金(注1)	733,949ユーロ(90百万円)			
⑥ 設立年	2016年			
⑦ 大株主及び持株比率	Alandia Industries (61.9%)			
⑧ 当該会社の事業規模 (注1) (注2) (単位:百万ユーロ)	決算期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
	連結純資産	75.8(93億円)	114.4(140億円)	136.2(166億円)
	連結総資産	-	-	187.0(228億円)
	連結売上高	93.3(114億円)	118.8(145億円)	127.8(156億円)
	連結EBITDA	2.9(4億円)	14.6(18億円)	25.6(31億円)
	連結EBIT	△4.3(△5億円)	6.9(8億円)	17.3(21億円)
	連結当期純利益	2.7(3億円)	38.7(47億円)	21.8(27億円)

(注1) 換算レートとして1ユーロ=122.14円(三菱UFJ銀行が公表する2020年7月17日における最終の対顧客電信為替相場の仲値)で算出しております。

(注2) 事業規模の金額はTokai Carbon Savoie International SAS及びTokai Carbon Savoie SASの連結数値となります。そのため、Tokai Carbon Savoie SASの事業規模の金額については記載を省略いたします。

## ② Tokai Carbon Savoie SAS の概要 (旧商号 Carbone Savoie SAS)

① 名称	Tokai Carbon Savoie SAS			
② 所在地	Notre Dame de Briançon 73260 AIGUEBLANCHE France			
③ 代表者の役職・氏名	Tokai Carbon Savoie International SAS, President			
④ 事業内容	アルミ精錬用カソード、特殊炭素製品、カーボン/黒鉛パウダーの製造・販売・研究開発			
⑤ 資本金(注3)	56,975,603.3ユーロ(6,959百万円)			
⑥ 設立年	1897年			
⑦ 大株主及び持株比率	Tokai Carbon Savoie International SAS (100.0%)			

(注3) 換算レートとして1ユーロ=122.14円(三菱UFJ銀行が公表する2020年7月17日における最終の対顧客電信為替相場の仲値)で算出しております。

## (4) Tokai COBEX GmbHの概要

① 名称	Tokai COBEX GmbH			
② 所在地	Gustav-Stresemann-Ring 12-16, 65189 Wiesbaden, Germany			
③ 代表者の役職・氏名	Frank Goede, Managing Director Andrzej Hotlos, Managing Director			
④ 事業内容	アルミ精錬用カソード、高炉用ブロック、炭素電極等の製造・販売・研究開発			
⑤ 資本金(注4)	25,000ユーロ(3百万円)			

(注4) 換算レートとして1ユーロ=122.14円(三菱UFJ銀行が公表する2020年7月17日における最終の対顧客電信為替相場の仲値)で算出しております。

## (5) 株式取得の時期

2020年7月17日

## (6) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の所有株式の状況

① 異動前の所有株式数	当社	0株 (議決権の数:0個) (議決権所有割合:0.0%)
	Tokai COBEX GmbH	0株 (議決権の数:0個) (議決権所有割合:0.0%)
② 取得株式数	当社	513,810株 (議決権の数:513,810個)
	Tokai COBEX GmbH	220,139株 (議決権の数:220,139個)
③ 取得価額 (注5)	203億円(当社:142億円、Tokai COBEX GmbH:61億円)	
④ 異動後の持分	当社	70.0%
	Tokai COBEX GmbH	30.0%

(注5) 換算レートとして1ユーロ=122.14円(三菱UFJ銀行が公表する2020年7月17日における最終の対顧客電信為替相場の仲値)で算出しております。

## (7) 株式取得の方法

本株式取得に係る資金については、グループ内の自己資金を充当するほか、株式の取得に係る資金調達を目的に2020年6月30日に公募形式によるハイブリッド社債(劣後特約付社債)を発行しております。なお、本社債は、資本と負債の中間的性質を持つハイブリッドファイナンスの一形態で、本社債は株式会社格付投資情報センターより資金調達額の50%に対して資本性の認定を受けています。